

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》河合 祐子

【概要】

公認心理師は、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって「心理に関する支援を要する者に対し、その心理に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うこと」を業とする者とされている。本講義では、代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義とその適応や限界について専門的知識を修得する。さらに、心理支援の選択や調整、良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、プライバシーへの配慮について、専門的知識を修得する。

【学習目標】

- 代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義とその適応や限界を説明できる
- 心理支援の選択や調整について説明できる
- 良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法を説明できる
- 心理療法及びカウンセリングの適用の限界を説明できる
- プライバシーへの配慮について説明できる

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	カウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界	人間性アプローチ、クライアント中心療法を学ぶ	河合 祐子
2	カウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界	パーソンセンタードアプローチ、エンカウンターグループを学ぶ	河合 祐子
3	カウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界	カウンセリングの構成要素、プロセス、実際に学ぶ	河合 祐子
4	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	精神分析療法、精神力動的アプローチを学ぶ	河合 祐子
5	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	行動療法、認知療法を学ぶ	河合 祐子
6	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	家族療法（第一世代、システム論ベース）を学ぶ	河合 祐子
7	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	家族療法（第二世代、社会構成主義ベース）を学ぶ	河合 祐子
8	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	集団療法、グループカウンセリング、サイコドラマを学ぶ	河合 祐子
9	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	芸術療法、表現療法、プレイセラピーを学ぶ	河合 祐子
10	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	緩和ケア、グリーフケア、グリーフカウンセリング、ロゴセラピーを学ぶ	河合 祐子
11	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	コミュニティアプローチを学ぶ	河合 祐子
12	良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法	共感的理解、傾聴、作業同盟、協働関係の構築など、良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法を学ぶ	河合 祐子
13	支援方法の選択、調整	生物心理社会モデル、ナラティブ・アプローチ、エンパワメント、ストレングスを学ぶ	河合 祐子
14	心理療法及びカウンセリングの適用の限界	エビデンスベースト・アプローチ、動機づけ面接、負の相補性を学ぶ	河合 祐子
15	プライバシーへの配慮	守秘義務、個人情報保護、個人の尊厳と自己決定の尊重、インフォームド・コンセントについて学ぶ	河合 祐子

【評価方法】

- ・授業内ミニテスト（30％）と期末レポート（70％）により評価する。
- ・授業内ミニテストへのフィードバックを随時行う。

【備考】

教科書 : 教科書名：特定の教科書は指定しない。

参考書 : 参考書：適宜指示する。

その他 : 講義資料を配付する。

【学習の準備】

- ・予習は指定された配付資料等の該当箇所を事前に読んでおくこと（80分）
- ・復習は配付資料等を活用して、あるいは指定された配付資料等の該当箇所を読んで、理解を深めること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

- ・心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。
 - ・社会の変化、科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力を修得している。
 - ・社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的スキルを修得している。
- 上記に掲げる心理科学部のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

公認心理師

【実務経験を活かした教育内容】

心理臨床経験を反映させた内容を提示し、理解を深める。